

つくみがわばし
津久見川橋

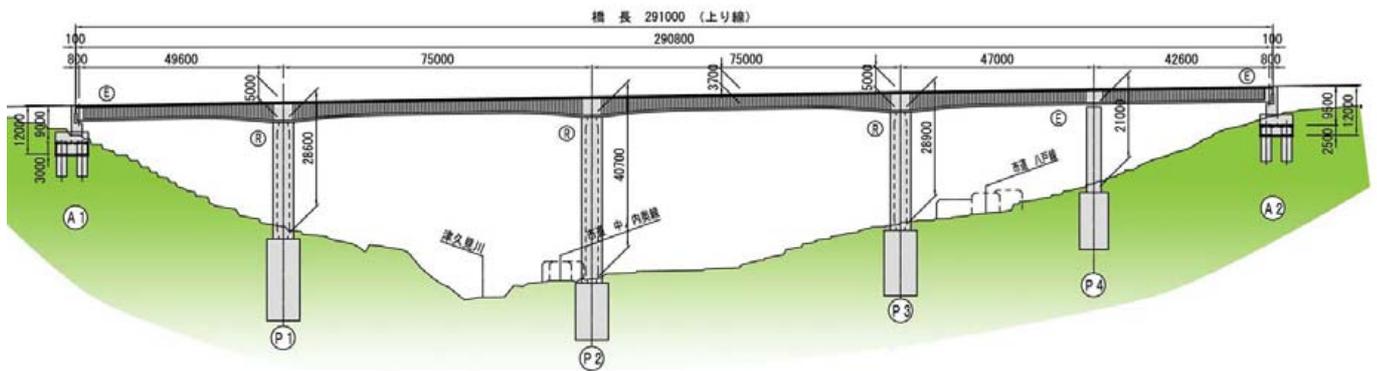


津久見川橋は、東九州自動車道の津久見ICと佐伯IC間に架橋される橋長291.0mの5径間連続波形鋼板ウエブラーメン箱桁橋です。

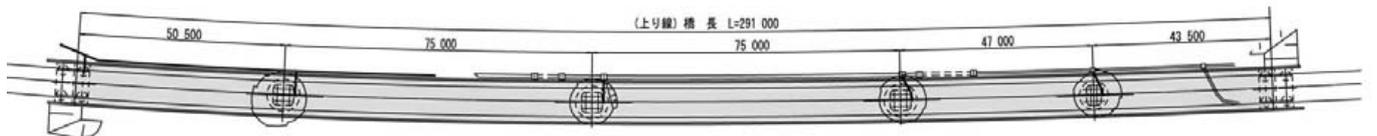
本橋は、構造および施工の合理化を図るため、国内初の波形鋼板を架設材として利用する張出し架設工法を採用しています。また、プレキャストリブおよび埋設型枠（PC板）を用いることにより、現場施工の省力化・急速化を図っています。

一般図

側面図



平面図



橋梁諸元

断面図

工事名：東九州自動車道 津久見川橋（PC上部工）工事

発注者：日本道路公団 九州支社

位置：大分県津久見市大字津久見

道路規格：第1種第2級

形式：5径間連続波形鋼板ウエブラーメン箱桁橋

荷重：B活荷重

橋長：291.0m(49.6+2@75.0+47.0+42.6)

総幅員：10.70m（有効幅員：9.50m）

架設工法：張出し架設工法

PC鋼材：主桁縦締め鋼材 SWPR7B19S15.2（アングラーソン工法：外ケーブル）

床版横締め鋼材 SWPR19 1S21.8（SM工法：プレグラウト）

